

한통련 뉴스레터

제72호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

韓米「核作戦演習」計画—朝鮮ICBM発射…韓米は「核戦争の危機」を醸成するな！



朝鮮によるICBM「火星18」発射

韓米「NCG」開催

韓国と米国は米ワシントンで12月15日(現地時間)、拡大抑止に関する協議体「核協議グループ(NCG)」の2回目会合を開いた。

会合に出席した金泰孝(キム・テヒョ)国家安保室第1次長は会合後、韓国記者団に対し、韓米両国が来年半ばまでに核戦略の企画、運用に関するガイドラインを設け、これに基づいて来年6月ごろに拡大抑止体制を構築し終えることで一致したと伝えた。

ガイドラインについて金氏は、「北の核脅威をどう抑止し、対応するかに関する総体的な指針」とし、来年の韓米合同軍事演習「乙支フリーダムシールド(UFS、自由の盾)」など両国の合同訓練で「核作戦

シナリオを含めた訓練を共に行う計画」と述べた。また、韓米の拡大抑止体制とは別に、日本を含む域内の国々と拡大抑止に関して2国間で対話することも可能だとの認識を示した。

NCGは韓米が4月の首脳会談で設置に合意。7月にソウルで初会合が開かれた。

朝鮮、ICBM発射

朝鮮は17日夜に短距離弾道ミサイルを東海(日本海)へ向けて発射した。直後に朝鮮中央通信は、NCGの会合結果を「露骨な核対決宣言」とし、米国が核戦争で2023年を締めくくろうとしていると非難する国防省の談話を伝えた。

同通信は19日、固体燃料式の新型大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星18」の発射訓練が前日に実施されたと報じた。訓練に立ち会った金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長(朝鮮労働党総書記)は「ワシントンがわれわれを相手に誤った決心をする時、われわれがどんな行動の準備ができており、どのような選択をするかははっきり示した契機になった」と述べた。

火星18は最高高度6518.2キロに達し、73分35秒かけて1002.3キロ飛行した後、東海上の目標水域に正確に着弾したと伝えた。

韓米日安保高官、電話協議

米ホワイトハウスは17日(米東部時間)、北朝鮮(※正しくは朝鮮、以下同

じ)のICBM発射を受け、サリバン大統領補佐官(国家安全保障問題担当)が趙太庸(チョ・テヨン)国家安全室長、秋葉剛男国家安全保障局長と電話で協議したと発表した。3氏は国連安保理決議に明白に違反するとして北朝鮮の発射実験を非難した。サリバン氏は韓国と日本の防衛に対する米国の確固たる約束に改めて言及した。

尹大統領、韓米同盟・韓米日協力を強調

尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領は19日の閣議で、北朝鮮が短距離ミサイルとICBMを相次いで発射したことについて、「朝鮮半島と世界の安全保障に対する重大かつ深刻な挑戦」として、「北の政権は自らの挑発がより大きな苦痛として返ってくることに気付くだろう」と述べた。

また、韓米日による北朝鮮のミサイル関連情報の即時共有システムが「本格的な稼働を始めた」とし、「システムの円滑な作動を確認した」と明らかにした。

NCGの2回目会合にも言及し、「韓米の一体型拡大抑止体制の構築が目前に迫った」とし、「核を基盤とした強力な韓米同盟が構築される」と強調した。

尹錫悦大統領の拒否権行使乱発に各界から糾弾の声…「尹政権を拒否する！」



「時局大会」後のデモ行進

拒否権乱発に各界が「時局宣言」発表・「時局大会」開催

民主労総、全国民衆行動、参与連帯、「民主社会のための弁護士の集い」、民主市民言論連合など各界の市民社会団体の代表らは12月12日、ソウル市内で記者会見を開催し、尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領の拒否権行使を糾弾する時局宣言を

韓米は「核戦争の危機」を醸成するな

朝鮮は18日、ICBMを発射した。韓米がNCGの会合を開き、来年の合同軍事演習で朝鮮の「核・ミサイル脅威(核・ミサイルの高度化)」に対応する「核作戦演習」を実施することで合意したことに反発し、米国本土に達するICBMの能力を誇示したものとみられる。

4月の韓米首脳会談で発表されたワシントン宣言に基づき、米戦略資産が朝鮮半島で頻繁に展開されるとともに、8月のキャンプデービッドでの韓米日3カ国合意以後は、韓米日合同軍事訓練も海上から空中にまで広げられており、こうした軍事行動が朝鮮を極度に刺激しているのは事実だ。加えて従来韓米合同軍事演習が核作戦演習となれば、軍事対決は「核戦争の危機」レベルへといやがうえでも進むことになり、朝鮮のこれまで以上の反発は必至であり、すでに始まっている。

今年、朝鮮戦争停戦協定締結から70年を迎えた。停戦協定下の準戦時体制が続く朝鮮半島において、核戦争はいうまでもなく戦争の危機を決して醸成してはならない。

発表した。

参加者らは時局宣言で「労働者と農民そして国民の長きにわたる切迫した要求と闘争によりつくられた改革立法が、尹大統領の拒否権の乱発により紙くず同然になった」とし、糧穀管理法、看護法に続き労組法2・3条と放送3法に対し拒否権を行使したことを批判した。

続けて「労組法改正は憲法が規定する労働3権をきちんと保障するための改正であり、放送3法はメディアの独立性を保障し、政権の御用放送ではなく公正な放送を保障する法」と指摘した。

時局宣言を発表した各界の市民社会団体は16日、ソウル光化門で「拒否権乱発尹錫悦政権を拒否する! 時局大会」を開催し、労働者と農民そして国民の生存権を拒否した尹大統領の名分のない拒否権乱発に怒りの声をあげた。

時局大会ではソン・ソンヨン市民社会団体連帯会議共同代表、全国非常時局会議のキム・サングン牧師に続き、ユン・テックン民主労総委員長職務代行が発言。「憲法が保障した労働3権を否定する大統領、メディアを掌握し国民の耳と口をふさぐ大統領、国会を壊し国民の生命を脅かす大統領、民主主義を後退させ戦争だと脅かす大統領をそのままにしておけるか」「わたしたちの手で引きおろそう」と訴えた。

参加者は大会後、「憲法じゅうりん 国会否定 拒否権乱発 尹錫悦政権を拒否する!」との幕を掲げデモ行進した。この日は釜山、蔚山、済州などでも「大統領拒否権糾弾 時局大会」が開催された。

尹大統領の拒否権乱発を糾弾する!

労組法改正は「黄色い封筒法」とも呼ばれる労働組合および労働関係調整法の改正であり、争議行為の範囲拡大、ストライキを行った労働者に対する企業の損害賠償請求の制限などが柱。放送3法は放送法・放送文化振興会法・韓国教育放送公社法の改正案をまとめた通称。公営放送理事会の理事を増やし理事の推薦権限を放送・メディア関連学会など外部に拡大することを骨子とする。

これらの法案は与党「国民の力」が反対する中、過半数の議席を握る最大野党「共

に民主党」の主導により11月9日の国会本会議で可決された。しかし、尹大統領は12月1日、両改正案に対して拒否権を行使した。拒否権の行使は穀物管理法改正案、看護法制定案に続き3回目。

憲法によると、大統領が拒否権を行使した法案が再び可決されるためには「在籍議員の過半数出席と出席議員3分の2以上の賛成」が必要となる。だが、国会（定数300）の3分の1以上の議席を占める国民の力（111議席）が否決の方針を決めており、共に民主党が野党系議員全員を集めても可決は見込めない状況の中で、改正案は8日、国会本会議で否決され最終的に廃案となった。

大統領の拒否権（再議要求件）が憲法に明示された理由は、国会の立法権をけん制するためであり、立法手続きに問題があったり内容に違憲的要素がある場合に行使するのが正常なからだ。拒否権は憲法を守るために大統領に与えられたものであり、野党に対応しろと与えられたものではない。しかし、現状は野党に対応するための政治的手段に転落しているといわざるを得ない。

各界の市民社会団体が尹大統領の拒否権乱発に対し糾弾闘争を開始した。3権分立という民主主義の基礎を平然と破壊する尹政権を許してはならない。

【記事紹介】進歩党、記者会見…総選挙立候補者84人発表／総選挙に向け「一つの進歩連合政党」提案



進歩党・総選挙立候補者の記者会見

来年4月に行われる韓国総選挙の予備候補登録が12月12日から開始されること

を受けて、進歩党は11日に立候補者84人の記者会見を、12日にはユン・ヒスク常任代表が進歩勢力に「一つの選挙連合政党」の結成を訴える記者会見をそれぞれ国会で開いた。同党ホームページから記者会見の内容を紹介する。

[報道資料] 「尹錫悦政権審判と進歩大団結で『国民勝利』総選挙をつくりまします」進歩党第22代総選挙84人の立候補者 記者会見

進歩党ホームページ 2023年12月11日

原文

https://jinboparty.com/pages/?p=286&b=b_1_111&m=read&bn=9845

1. ユン・ヒスク進歩党常任代表は12月11日、84人の総選挙地方区立候補者とともに「尹錫悦政権審判と進歩大団結で『国民勝利』総選挙をつくる」と明らかにした。

2. ユン常任代表はこの日午前、国会本庁前で開かれた「進歩党第22代国会議員選挙立候補者記者会見」で、「進歩党の候補者は本日、尹政権審判の最前線で闘うという覚悟で総選挙立候補を宣言する」と述べた。

3. ユン常任代表は「政権はこの2年間、検察独裁で政敵を除去し、言論掌握と『拒否権統治』で大韓民国の民主主義を妨害した」とし、「国民の苦痛と国政を無視した尹政権の審判が、民主主義と民生回復の第一歩」と明らかにした。

4. あわせて「進歩なくして尹政権審判は不可能だ」とし、「民主党だけでは政権の暴走を防ぐことができないし、大韓民国の改革も成すことができない。野党の勝利と進歩の勝利がともにできてこそ、新しい大韓民国をつくることができる」と述べた。

5. ユン常任代表は「進歩政党にはそれぞれの政党で活動しながらも、労働者、民衆、少数者の生活を守り、政権の暴政には闘争してきた連帯の歴史がある」とし、「すべての進歩政治勢力の幅広い団結と強い進歩政治で、国民が勝利する総選挙を共につくろう」と提案した。

6. ユン常任代表は「『国民の力』（※の前身）は独裁政権と不正政権で国民の断罪を受けたが、政党の名前を変えて生存を維持してきた」とし、野党にも「いまや古い政治は清算し、民主と進歩が大韓民国のために競争する真の『政治改革』の時代をつくろう」と提案した。

7. ユン常任代表は「国民のための改憲は進歩党の使命」だとし、「労働、住居、教育、地域、ジェンダーなどすべての分野における勝者一人占めの不平等な社会経済体制を打破し、『拒否権統治』と検察独裁の立法府掌握試図に立ち向かい、二度と民主主義が後退しないよう新しい時代を開く」と強調した。

8. カン・ソンヒ院内代表は「一千万人をこえる非正規職労働者にも労働組合が必要であり、労働者の立場が守られる国をつくりたい」と訴えた。

9. カン院内代表は「尹政権の任期を一日でも早く減らすのが国民の念願であり希望」としながら、「ところが国民の念願とは異なり野党は分裂しており、第3地帯を云々する機会主義勢力と偽の反尹旗で保守政治の新しい復活を夢見る多様な勢力が、国民の目と耳をまやかしている」と批判した。

10. カン院内代表は「進歩党予備候補者は、地域と現場で住民と泣き笑いながら、苦楽を共にしてきた労働と民生の専門家であり、生活の現場で民主主義を守るために献身してきた」とし、「84人の予備候補者は大韓民国の勝利が進歩党の勝利であることを肝に銘じ、ささいな利益は後にし、大韓民国の義を立てるとの民意に応じるためにすべてを捧げて走る」と約束した。

11. この日、慶尚南道昌原義昌チョン・ヘギョン候補者（労働）、京畿道平澤乙キム・ヤンヒョン候補者（地域、女性）、忠清南道洪城礼山キム・ヨンホ候補者（農民）、ソウル西大門甲ソン・ソル候補者（青年）が84人の候補者を代表し立候補の決意を表明した。

12. 一方、ユン常任代表は12日午前9時40分、国会記者会見場で進歩政治連合の立場発表の記者会見を行う予定。

[報道資料] 「『最大の進歩連合』で国民に希望を届けましょう」進歩党ユン・ヒスク常任代表 記者会見

進歩党ホームページ 2023年12月12日
原文

https://jinboparty.com/pages/?p=286&b=b_1_111&m=read&bn=9847

進歩党常任代表のユン・ヒスクです。進歩党は昨日、84人の総選挙立候補者と尹錫悦政権審判の最前線で闘うという覚悟で総選挙立候補を宣言しました。今日は進歩党の政治連合の方向を申し上げようと思います。

尹政権で最も苦しむ労働者と社会変化のために、誰より献身してきた元老たちが進歩の団結を求めています。進歩政党は民主労総が提案した「民主労総+進歩4党（※正義党、進歩党、労働党、緑色党）」連席会議、元老たちが提案した円卓会議に参加しており、正義党をプラットフォーム（※受け皿）にした選挙連合政党を含めて、三つの連合方案が同時に議論されています。

進歩党は労働者と元老たちの哀情を胸深く刻み、進歩政治を切望してきた国民に希望を届ける「一つの進歩連合」を提案します。

進歩政党が一つの政治勢力として大韓民国

の新しい政治の地形をつくらなければなりません。守旧保守政治を清算し民主と進歩が競争する政治改革を成さねばなりません。そうしようとするならば、今回の選挙に「進歩の単一の選択肢」を必ずつくらなければなりません。

特定政党に入らなければならない「最小の進歩」ではなく、共に始める「最大の進歩」で進みましょう。進歩政党と労働組合、市民社会など、新しい世の中を切望するすべての勢力と尹政権に反対する国民を結集する「一つの進歩連合」で、来年の総選挙を国民が勝利する選挙にしましょう。

進歩の団結は進歩政治の跳躍を夢見る進歩政党には放棄できない道であり、大韓民国の政治を変えるために必ず進まなければならない道です。「最大の進歩」は政権審判をこえ体制転換の強い土台になるでしょう。わたしどもの今日の提案は、総選挙用の選挙連合をこえ進歩政治の新しい未来とともに開こうという訴えです。

進歩党はすべてを開いておきます。他の進歩政党にもすべてを開いており、最後まで共に論議できるよう丁重に要請いたします。ありがとうございます。

2023年12月12日
進歩党常任代表 ユン・ヒスク

활동보고 活動報告

第18回韓統連愛知セミナーを開催…康宗憲代表が講演



主催者あいさつする趙基峰代表委員

韓統連愛知本部は12月10日、名古屋市内で第18回韓統連愛知セミナーを開催した。

韓統連愛知本部の趙基峰（チョ・キボン）代表委員による主催者あいさつ後、「今こそ進めよう、朝鮮半島平和の道標を」をテーマに、韓国問題研究所の康宗憲（カン・ジョンホン）代表が講演。康代表は「現象のみに囚われるのではなく紛争の背景を押さえる必要がある」と語り、「昨



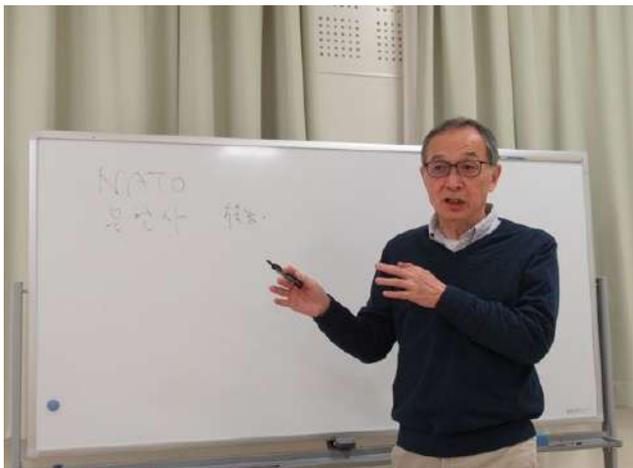
講演する康宗憲代表

年のウクライナ戦争や今年のイスラエル戦争は、米国のNATOの東方拡大戦略と中東戦略の破綻である」とし、「米国の一極支配は崩壊過程にある」と指摘。「米国主導ではない世界の流れが生まれつつある」と語った。またアジアにおいては「米国は

現在、米日豪印の戦略対話『QUAD（クアッド）』、米英豪の3ヶ国軍事同盟『AUKUS（オーカス）』に加え、韓米日の安保協力体制を整え、インド太平洋と大西洋をまたぐ巨大軍事同盟形成に躍起になっている」と語った。

朝鮮半島情勢については「日本における『北朝鮮の脅威』については冷静かつ正確な認識を持つ必要がある」とし、「朝米交渉で合意された朝鮮半島非核化と朝米関係正常化の同時推進が問題解決にむけての重要課題」と指摘。「韓国では尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権に対する退陣闘争が拡大し、来年4月の国会議員選挙での勝利に向け運動が展開されている」と語った。参加者からは質問が相次ぎ、活発な討論がなされた。

韓統連神奈川本部が情勢学習会を開催…宋世一委員長が講演



講演する宋世一委員長

韓統連神奈川本部は12月18日、川崎市内で学習会を開催した。

神奈川本部の文世賢（ムン・セヒョン）代表委員が主催者あいさつ。「今年は学習会を継続的に開催することができた。情勢に対する認識を一致させるのは運動の土台になっていく。一年間の情勢を総括し、来年の闘いに備えていこう」と語った。

中央本部の宋世一（ソン・セイル）委員長が講演。「今年の情勢を振り返ると、米国の没落が顕著だった」と指摘。「国力の低下を補うために同盟国や友邦国を巻き込

み、対中国包囲網を形成しようとしている。最近では朝鮮戦争時の国連軍司令部を再活性化しようとしており、日本、韓国を核にした司令部を形成し、これまで以上の国を巻き込みながら戦争挑発をおこなう可能性がある」と語った。

韓国国内については「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権が誕生し一年半がたったが、独断専横で無能無責任な尹政権に対して国内では退陣の声が高まり続けている。キャンドル革命で残された課題である積弊精算を今度こそ貫徹しなければならない。6月に尹錫悦政権退陣運動本部が結成され、進歩民衆運動も退陣運動を本格的にスタートさせた。今後、退陣運動を拡大し、指導部を強化することで、退陣運動を汎国民闘争へと発展させなければならない。総選挙で尹政権を厳しく審判し、退陣運動を加速させていこう」と語った。

学習会後は送年会を開催。参加者は今年を振り返り、来年にむけての決意を共有した。

第22代 韓国国会議員総選挙 在外投票案内



2024年4月10日に実施される第22代韓国国会議員総選挙に、在日同胞も投票できます。初めて投票する方は事前に選挙人登録が必要ですので、期限内に各地の韓国領事館で登録してください。

在外選挙人登録申請期間 2024年2月10日まで
投票期間 2024年3月27日～4月1日まで

手続きの詳細は在外選挙 中央選挙管理委員会ホームページでご確認ください
<https://www.nec.go.kr/site/abroadja/main.do#>

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ



韓統連ホームページ

행사예정 行事予定

1月

第10回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 1月20日(土) 午後5時30分 場所: 京成上野駅前 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

韓統連京都セミナー

日時: 1月28日(日) 午後3時開始 場所: ベーコンラボ京都駅 内容: 「韓国総選挙から展望する朝鮮半島平和への道」(講師一金昌五(キム・チャンオ) 副委員長) 資料費: 500円 主催: 韓統連京都本部(準)、韓青京都府本部 連絡先: 090-9088-7274 (李)

編集後記

2023年のニューズレターは今号で最後になります。今年は停戦70年、関東大震災朝鮮人虐殺100年と、節目の行事が多い年となりました。不安定な情勢が続きましたが、来年は良い年になるよう頑張っていきたいと思います(李)

